

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

第25回宮城勉杯

優勝

大宜味ジュニア

宮城はち・福地美楽惟ペア



5月20日（日）、沖縄県総合運動公園レクドームにおいて第25回宮城勉杯が行われ、大宜味ジュニア（ソフトテニスクラブ）の選手10名が参加し、それぞれ素晴らしい活躍を見せました。

その中でも、女子経験者部門で6年生の宮城はちさん、福地美楽惟さんペアが激闘の末、見事優勝を勝ち取りました。また、女子初心者部門でも4年生の山川瀬奈さん、我部喜歩子さんペアが準優勝に輝き、男子部門では宮城松くんが3位となりました！子供達の頑張っている姿に、応援にかけつけた家族も大きな声援をおくっていました。

村内出身の中学生・高校生がめざましい活躍をみせる中、その先輩方の指導にもあたっていた稲福吉昭監督が現在もチームを指揮し、子供達の育成に尽力しています。

今後も大宜味村ジュニアの活躍から目が離せません。

がんばれ大宜味ジュニア！！



安心して学べる環境づくり 就学援助制度

あなたも
シュウガク
エンゾ
利用できるかも!

就学援助制度って？

学校教育委法などにもとづいて、小・中学校の子どもがいる家庭に
学用品費や学校給食費などを市町村が援助する制度です。



学用品や毎月の給食費、修学旅行費の工面が大変そう…。そんな時には、
就学援助制度を申請してみませんか。沖縄県内でも小・中学生のいる多くの
家庭が利用している「就学援助制度」。気軽にご検討ください。

対象と援助の内容

対象は、小・中学校の児童生徒のうち、いずれかに該当するもの。

- 1. 要保護者…生活保護法第6条第2項に規定
- 2. 準要保護者…市町村教育委員会が、要保護者に準ずると認めるもの



給食費



新入学用品費



学用品費



校外活動費



修学旅行費



医療費

* 援助の内容は市町村によって異なります。

詳しくは大宜味村教育委員会または学校にお問い合わせください。

大宜味村教育委員会 ☎44-3006

大宜味小学校 ☎44-1306 大宜味中学校 ☎44-2840

サンセットを眺めながら!? 道の駅前浜でアカウミガメ産卵



ウミガメの産卵のシーズンになった。根路銘区には毎年ウミガメの情報を寄せてくれる大城さんがいて、別の大城さん経由で私の携帯に連絡が入る。5月12日のまだ明るい午後6時前にウミガメが産卵中との連絡がきた。すっ飛んで行くと道の駅前の浜でアカウミガメが確かに産卵中であった。ウミガメ類の調査を始めて23年目になるが、陽が沈む前の明るいうちに産卵しているのを見るのは初めてのことである。久しぶりに気持ちが高ぶった。カメ用の大きなノギスで甲羅の長・幅を計測し、左右の前足にタグを付けるという事務的な作業を終えてから多くの人とカメが帰海するまで観察していた。無人島等外敵のいない安全な浜では昼間の産卵も確認されているが、沖縄を含め国内では夜の産卵が普通である。「このカメはなぜ明るい時間帯に産卵したのか？」等と考えながらの観察であった。多くの理由があると思われる中で、ただ一つ納得したのは、産卵の時間帯が満潮時（大宜味では殆どが夜の満潮の時間帯に産卵している）であった事だけで本当のことはカメに聞かないと解らないことである。5月12日の2週間後の5月26日前後に再度産卵すると予想するが、次の産卵の時間帯に注目したい。カメ情報をお寄せ下さい。

村の未来を担う子ども達のために今できることを… 学力向上推進委員会総会

5月23（水）、大宜味小学校多目的室において平成30年度大宜味村学力向上推進委員会総会・教育講演会が行われました。

総会では学習支援部会、社会力育成部会から平成30年度の活動計画が示され、学推事務局からは「子ども一人一人学ぶ意欲チャレンジ精神、自己実現・自立への基礎を培うため大宜味村全ての子ども達に家庭や地域社会における生活を基盤に基本的生活習慣の形成、学校における授業等でこれからの時代に求められる資質能力を身に付けさせたい。学校、家庭、地域及び行政も、共通の認識と目標を持って取組むことが学力向上推進の目標達成につながる。」と激励がありました。

学校では授業改善、主体的、対話的、深い学び、わかる授業の構築、主に学習規律（授業における7つの共通実践）、家庭・地域では家庭学習、約束ごと、あいさつ、返事、規範意識、朝食家族団らんの充実など、学ぶ習慣作りを支援すると共に将来の夢や希望を育むこと、行政は学校家庭地域と連携し、学推目標達成に向けた具体的な取組企画、立案、活動をサポート支援したいと思います。



今年度は前年度を上回る多くの方がご参会頂きました。これからの学校教育にご指導が協力をよろしく願いたします。

子ども達が点けてくれた火を飛び火させ村の活性化に繋げる 学推教育講演会

学力推進委員会総会後には であるコープおきなわの石原修さんを招いて「誇り・未来・人づくり」と題し、教育講演会が行われました。

昨年度、大宜味中学校1年生が総合の授業を活用して商品開発をした「シークワサー酢 SKS+S」。石原線はこの授業で生徒たちとともに開発に取り組み、他の市町村でも商品開発を通して地域活性化事業を行っています。



石原さんは授業を終えて、生徒たちの違う一面を見られたことの喜びを伝えてくれ、「商品づくりは地域を活性化する道具の1つであって、開発できて終わりではない。地元を誇りを持つことが生きていく上で大事になるので、誇りづくりをしていくことが何より大切。子ども達には、『自分たちで考える、自分たちで決める』ことを伝えた。これさえできれば



商品作れる。また、販売体験を通し、稼ぐことの大変さを知りお金の大事さを伝えた。子ども達が頑張っている商品ができた。この商品が売れることでみんなが元気になる。この商品をみんなが幸せになるものになりたい。駆け引きして自分たちだけが儲かることを考えるのではなく、知恵を寄せ合い、長所の連携を作って地域の武器を生み出すことが大事。小さな村だからこそ富の分配をすることが大事だ。」とこれからの大宜味村に必要なことを教えてくれました。

平成30年度わんぱく体験団 第1弾「わんぱく春フェス2018」



今年もたくさんの団員♪

やってきました、わんぱく体験団！ さてさて、今年度の団員はどれくらい???

じゃかじゃん！ 76名!!

すごいですね～、大宜味小の2人に1人がわんぱく団員…。わんぱく史上、最多の人数です。

そして、記念すべき第1回目の活動「わんぱく春フェス2018」が5月12日（土）、旧大宜味小学校体育館において開催されました。この日はわんぱく初心者からベテラン団員まで63名の団員が参加。応援団も琉大生から役場職員まで13名集まり、賑やかなスタートをきりました。

簡単なレクで班員同士を知った後は、6年生や5年生のお兄さん、お姉さんが中心になって、各班で班長や班の目標決め。名前の頭文字を入れたり、流行のものや言葉を入れたり、応援団のお兄さんの名前にしりユニークな班がたくさんできました。



仲良く比べっこ♪



並びっこゲーム



頭をええ！お腹へこませ！離れ島



熱戦！ぞうきんがけりレー



体育館がきれいになりました♪



目かくしマスゲーム



アレ!? おめめぱっちり?



作戦が肝心！5色綱引き



これから1年活動する班。よ～く考えて名前を決めよう！

もともと8班でしたが、「まぢ記!いい波のってんね～チーム」はこの日人数が少なかったため、他の班に混ぜてもらい7チームで対戦！つなひきや、しっぽ取りなどお馴染みの競技に挑み、各チーム作戦を立てながら優勝目指して力を合わせて頑張りました。どの競技にも全力でぶつかっていき「あと1回」、「もう1回」、「あれもやりたい」、「これもやりたい」と、どんどん元気になっていくわんぱくたち。1回目の活動から有り余るパワーでわんぱくらしさを見せてくれました！これから1年みんなで楽しもう♪よろしくお願いします!!



取るか、取られるか!?



俊敏に動く



とにかく楽しいしっぽ取り♪

チーム名	離れ島	ぞうきんR 乾拭き	ぞうきんR 濡れ拭き	5色 つなひき	しっぽ取り 1回戦	しっぽ取り 2回戦	しっぽ取り 3回戦	合計
1位 ふくたろう	2	6	8	8	8	8	8	48
2位 アベンジャーズ	2	7	7	6	6	6	7	41
3位 ゆうきの・・・	2	8	6	5	5	2	6	34
ラッキー7	1	4	5	4	7	7	5	33
K Iチーム	2	5	2	3	6	5	3	26
100%あかあか しししベッパーズ	1	2	4	7	5	3	3	25
みかん&ピカチュウ	1	3	3	2	6	4	4	23

深読み大宜味村史 16 大保 2 1967年8月25日 后4時

大宜味村史は昭和42(1967)年に村史編集委員会が発足し、委員長宮里金次郎、委員に山川元康、大山茂一、宮城福市、親川富二、宮城倉栄、宮城倉啓、大嶺福一、大城真秀、編集担当として山川岩美(編集責任者)、金城功、宮城長信、大城将保、平良幸七(写真)の諸先輩方によって編まれ、12年の歳月をかけて昭和53(1978)年に資料編、同54(1979)年に通史が発刊されている。

通史・資料編を合わせて1,100余ページにも上る村史編さんの基になった資料をめぐってみると、本文では削られた部分がほとんどであるが、興味深いものが沢山あり、順次紹介している。なお、当時の言い回しや仮名づかいに味わいがあるので、出来るだけ原文通りを心がけ、判読不能の文字は□に置き換え、必要に応じて()内に補足を加えた。また、年代、年令などは1967年当時の表記であることにご留意願いたい。

外国移民 ペルー移民 大正7年 崎山喜一、我ナハ宗平、我ナハ宗助兄弟、金城和一、上地安保、安正兄弟6人 現在107人居る

銅山 大保原西又(上地所有地)大正初期一俵5口製練所へ運んだ。工場のばい煙で松林も枯れた

塩屋港内迂回道建設工事 昭和7年より初まり県直営事業で國頭、大宜味、東、久志、羽地、今帰仁各村より労務者が集まる1000人 労務賃は1日50銭 石工が60銭 女子は30銭 外からの労務者は塩屋、白浜、宮城、大保、田港、屋古等に下宿 米1斤20銭 家賃1人月2銭 1戸で30人位居った

共同店 大正10年頃行政分離と同時に区の経営 主任上地安良、我ナハ宗仁 それ以前は上地の個人商店

大保橋 昭和8年完成する

田港橋 昭和9年 塩屋より東村へ通ずる道 大正13年 郡道となる

学校 津波学区1年2年まで。3年4年は塩屋校へ(79才老人の話) その後は津波校に6年まで。何ヶ年か後現在の塩屋校へ移った

会所 林豊さんの前の家であった

神祈願 清明祭、ウマチーは祖先墓を拝みに那ハへ行く

3月3日 お重をつくって子供も全部浜下りして盛大にやる

アブシバレー 浜の広場で

コレラ 明治27、8年頃コレラ流行(かかった者は)床下に隠された。親達は知らぬ顔して道から歩いて居った。3人かかったが死亡者なし。風気(瘴気)を追い出すと云って青年は夜明け通しブラー(法螺笛)、太鼓叩いてさわいでおった。病気を追い出すといふ事であった

永田小作 一期米は半々づつ分け合ふ 二期米は3分の1地主 3分の2小作者

部落の大火 昭和4年4軒全焼 細工屋 昼火事 かんなくず焼ける

照屋林豊 氏保存の借用訟(証文)多くさん有る 4貫、850貫 金利月2割5分

真喜志康順 比島(フィリピン) 司政官 鉄道技師

平良康昌 師範中退 現在おれば68才 東京警視庁の柔道教師

大工 金城和長 頭領 現存すれば100才 真喜志康孝 86才 頭領

馬 28頭 一 戦後は40頭もおった

歴代区長 初代金城和豊、2代照屋林保、3代真喜志康晴 その後照屋林豊、照屋林保

戦后 真喜志康□、保信、平良幸吉、照屋林保、林豊、平良幸栄、照屋林吉、真喜志康専

議員 上地安良、金城和豊、真喜志康吉、真喜志康豊、具志堅朝一、上地安若

水道 54年設置 資材政府補助

護岸 部落前の工事 昭和11年、12年頃 7、8ヶ月かかった 源河の石搬入、埋土も木工で□いでやった

電気 19□□年頃



村史編さんだより

第86号 2018年6月1日 大宜味村村史編纂係 44-8009 Eメール:sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp

沖縄県地域史協議会 参加報告



南山グスクの入り口

5月25日(金)沖縄県地域史協議会 総会・研修会が糸満市農村環境改善センターにて行われ、村史編さん係から3名が参加しました。

午前中は南山グスク・嘉手志川などを巡見し、海人工房資料館では上原館長にミーカガン(水中メガネ)の誕生秘話(ミーカガンは明治17年、糸満の玉城保太郎氏の発明)や糸満のウミンチュ文化に関するお話を聞かせていただきました。

総会後は、講演①「古琉球期の山南とグスク」(上里隆史) 報告①「『南城市のグスク』および『南城市の御嶽』について」(南城市教育委員会) 報告②「『島袋のろ殿内資料』に関する刊行物について」(北中城村教育委員会) 報告③「竹富町史『島じま編』シリーズの刊行について『竹富町史第七巻波照間島』を中心に」(竹富町教育委員会)があり、他の市町村史の取組みを知ることが出来、大変参考になりました。

「田嘉里むん市」に参加しました!

5月7日(日)に開催された「ぐらの郷 田嘉里むん市」に村史編さん係もスペースを設けていただき、『琉球国時代からのヌンドゥルチ(屋嘉比ノロ)』というテーマで展示を行いました。

展示物は、これまでに発刊した村史の編集作業をしていくなかで得られた田嘉里に関する資料や古い写真、調査時に撮った写真などの他、今回目玉となる屋嘉比ノロの遺品の衣装、祭祀道具・古文書(ノロ殿内所蔵)、大城記補氏を中心とした大城家の卒業証書や土地整理に関わる辞令書などの資料(大城家所蔵)で、ノロの遺品以外は現物の展示だったので、訪れた方々からは、「こんなにたくさんの貴重な資料が残っているなんて凄い!はじめて見た!」と驚きの声が多く、大好評でした。

今回展示を行って、字の皆さんが喜んでくれたこと、色々な昔話が聞けたこと、村史編さん係のちょっとしたアピールができたことが良かったです!収穫の多い一日となりました。

お話をくださった、まつり実行委員の皆様、資料の提供と公開を許可してくださった大城家の皆様、ありがとうございました。



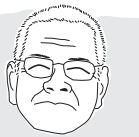
展示の様子



昭和60年頃のウステークの写真に見入るご婦人方。平成28年に撮影した映像も上映しました。



「しまふとうば」ぬくとう 28



うみがーみー

サンニンの花が咲いているのを見ると、「慰霊の日が近いな」という思いに駆られる。同時に、野に赤く咲くグラジオラスの花を見ても同じ思いに駆られる。25～28歳の若い頃に南部の摩文仁近くにあった3万坪という広大な柑橘農園で働いていた。沖縄戦当時は激戦地であったその農園内から50人以上の遺骨と5トン余の不発弾が収集された。6月の暑い最中に作業をしていると、農園や周囲の原野で自然に咲いているグラジオラスの花を採集している“オバサンチュウー・おばさん達”がいた。その訳を聞くと、ひめゆりの塔等に慰霊に訪れる人たちに売って生活の足しにしている、と言っていた。近年は花卉農家が栽培した菊やラン等の花がきれいにラッピングされて売られているが、当時は花屋も少なく慰霊に使う花の多くが自然に咲いているグラジオラス等が中心であった。

赤色に近いグラジオラスの花を採っている“おばさん達”を見てみると、現実と妄想とが入り交ざった奇妙な精神状態になる時もあった。暑い中で帽子もかぶらず、古ぼけた衣装をまとい、少しでも多くのグラジオラスの花を採ろうと忙しく鎌を動かしている草履ばきの“おばさん達”と、話で聞いた、本で読んだ、或いは映画で見た戦場を逃惑う女性や子供の姿とがダブったのである。そして“おばさん達”を見てこの地は、ほんの数十年前に間違いなく大変な激戦地で多くの方が亡くなり、血を流した場所である。そして数十年後の自分はこの地で多くの遺骨を収集し、血の色に近い朱色のグラジオラスの花を採っている“おばさん達”を見て。多くの亡くなった人の流した血がグラジオラスの花の色に昇華したのだろうと思ったりした。グラジオラスの花にはこのような思い出がある。

今年も6月23日の慰霊の日には、戦争で亡くなった伯父さんや大宜味村出身者、その他多くの人に会いに摩文仁に行こうと思っている。礎に刻まれた名前に一方的に語ることはできないのだが。

沖縄ーおいしい大宜味の水と、また ④、宮城製菓のウムガーヤキと花を持っていこう。



今月の生きもの



スズメ：ハタオドリ科

チュッ、チュッ、チュン♪ こんにちはスズメです。最近朝ドラのヒロインもやっちゃったりして…、って、違うか!?! こんな小さい私だけども実は大ぐらい。すぐにお腹がすいちゃって、3時間以内に餌を食べないと弱ってしまうの。ヒナは1時間間隔で餌を求めるから、子育て中はもう大変! 巣立ちも早いからあっと言う間の繁殖期なんだけど、周りには十分警戒してるからそっと見守って。と言いつつ、人の家のそばに巣を作ったりして…

6月の行事予定

1日（金）	区長会 大中振替休日	19日（火）	村教委学校計画訪問①（大小）
2日（土）	国頭地区中学校夏季総体 ～ 3日	20日（水）	村教委学校計画訪問②（大中）
4日（月）	大中振替休日	21日（木）	村教委学校計画訪問③（幼・給セ）
9日（土）	北部地区スポーツ推進委員協議会 実技研修会（伊江村）	23日（土）	沖縄慰霊の日 国頭地区ミニバスケットボール交歓会 ～ 24日
10日（日）	小・中一斉授業参観日	24日（日）	国頭郡サッカー大会
11日（月）	大小・大中振替休日	28日（木）	定例教育委員会会議
17日（日）	家庭の日	30日（土）	わんぱく体験団② 島田杯北部支部少年野球大会



ウミガメ産卵の季節がやってきました。生まれた浜に戻って産卵をするウミガメ。浜の地形が変わって産卵しづらくなっても同じ浜で必死に産卵場所を探しています。そのメカニズムに驚きながらも、いい浜を保っていかなくてはと感じるこの頃です。